

G R A P H F U K U O K A

グラフィック

ふくおか

2025
AUTUMN

秋

No.620

特集

伝統に新たな風を吹き込む

若き後継者たちの挑戦

小特集

「時間の旅」次代へ

—九州国立博物館 開館20周年—

久留米市の市立江南保育園

CONTENTS

特集
伝統に新たな風を吹き込む
若き後継者たちの挑戦…………… 02

小特集
「時間の旅」次代へ
九州国立博物館 開館20周年 ……10

FUKUOKA PRIDE FOOD
【糸島の天然マダイ】……………14

Smile 移住・定住
【北九州市】……………16

はっけん! フクオカ
【飯塚・嘉麻・田川市】……………18

きらめきマイタウン
【筑後市】…………… 22

知事といきいきトーク
【宗像市】…………… 26

県議会だより…………… 28

花による美しいまちづくり …… 32

COVER STORY



笑顔咲くフクオカ

読書の秋、久留米市の江南保育園での心温まる一コマ。園児のお気に入りの絵本を、先生がひざの上で読み聞かせています。クライマックスに差しかけると、とても大好きなシーンなのでしよう、思わず口元に手を当てて喜びの声をあげていました。

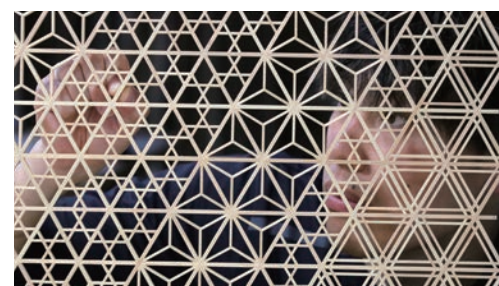
〈九州ロゴマーク〉
九州・山口各県
と経済界で定めた
「九州」のマーク
です



詳しくは
こちら



福岡県公式
YouTube チャンネル
「ふくおかインターネットテレビ」



伝統に新たな風を吹き込む 若き後継者たちの挑戦

FUKUOKA アトツギ ジャンプ モノづくり

「アトツギベンチャー」という言葉をご存じでしょうか？家業を継いだ若手後継者（アトツギ）たちが、代々培われてきた経営資源を土台としながら、5年後、10年後の会社を見据えて新たな領域へ挑む中小企業を指し、新たな活路を切り開く存在として注目されています。福岡県は、こうしたアトツギベンチャーを伴走支援する事業「アトツギ・ジャンプ（モノづくり）」（当初事業名「^{イッシン}ISSIN（^{クラフテッド}CRAFTED コース）」）を2021年にスタートさせました。2024年までに35社が参加し、クラウドファンディング（CF）サイト「^{マクアケ}Makuake」への出展を目指して新商品開発に取り組みました。家業の伝統と、アトツギたちの斬新なアイデアが融合して生まれた五つの挑戦をご紹介します。





久留米市魚久精肉総本店

「新商品の種」咲かせる



こだわりが詰まった自家製ウインナー

久留米市の老舗精肉店「魚久精肉総本店」4代目の中村拓也さんは、「アトツギ・ジャンプ（モノづくり）」で、手作りのウインナーを使った新商品を開発し、CFで好評を得ました。来年の創業100周年に向け、「新商品の種」はまだまだたくさんありますよ」と笑顔を見せます。

大学卒業後、段ボール製造会社就職し、家業からは距離を置いていた中村さん。勤め先で総務部門を担当し、会社経営に関する業務に携わるうち、当時

約90年続いていた家業への想いが膨らんでいったそうです。

「父親の代で終わらせていいのだろうか」。一念発起し、

会社勤めを続けながら夜間は専門学校に通って調理師資格を取

得。2017（平成29）年に実家の精肉店を継ぐと、「目玉になる

商品が必要」と設備を導入し、肉

本来のうまみがジュワツと染み

出すウインナーを挟んだホット

ドッグ「UOQDOG」を商品

化しました。

県の事業を活用して、この味を家庭で手軽に楽しめるようウインナーやソースなどのホットドッグの具材を真空パックにした商品を開発。購入者は好きなパンに挟んだり、パスタに入れたり自分好みにアレンジできることから、「UOQDOG IROIRO」と名付けました。

IROIROはCFで、目標金額の6倍に近い購入希望があり、今秋にも一般販売を始める予定。また、今後はハムなどを挟



魚久精肉総本店
久留米市中央町31-1
0942-32-3788



んだ新商品販売も計画しています。

「（県事業で）熱量の高い後継者と知り合えました。アトツギ仲間と一緒に地域を盛り上げていきたい」と、中村さんのまなざしは未来を見据えています。



「UOQDOG IROIRO」



組子マグコースター

気 軽に組子で彩りを

1928（昭和3）年創業の

「時安建具店」は、障子や襖ふすまのある住宅が減る中、新しいスタイルの組子細工に取り組み、CFへの挑戦で弾みをつけました。

「気軽に気楽に組子を楽しんでほしい」という思いから「宗像きら組子」と名付け、組子のコースターやアクセサリを商品

化。これにとどまらず、4代目の時安将平さんときやすしやうへいは、さらなる進化

を目指しました。

組子のコースターと木製小皿をセットにした「組子マグコースター」。各パーツに磁石を内蔵しており、自由に組み合わせることで、コースターや小皿、花瓶置きと利用者が自由にカスタマイズできる形にしました。

応援購入を募ったCFには、目標額の5倍の申し込みがありました。評判は広がり、アメリカの大手CFサイトにも出品。海外進出を機に、クローバー柄といったこれまでの組子にないデザインを模索するなど、将平さんは前進を続けています。

消費者に向けた情報発信の重要性も、県の事業に参加した中で得られた新たな「気づき」でした。試行錯誤しながら始めたインスタグラムの動画発信は、若い人や外国人の注目を集めています。

組子を作り始めたのは、3代目の父・正成さんまさなり。建具店の数



時安建具店
宗像市原町2061-2
0940-36-2530



が減っていく中、可能性の種をまき、家業を継いだ息子の奮闘を見守っています。
飲食店などからの組子装飾の注文に加え、部屋のワンポイントとして組子を選ぶ人も増えてきたといいます。「新しい時代に受け入れられるデザイン力をさらに磨き、地域に愛され、信頼される店であり続けたい」と将平さんは力を込めます。



組子細工のアクセサリも

宗 像 市 時 安 建 具 店





久留米紬の日常着「Re:luck (リラック)」

広川町野村織物

伝
統をつなぐ「橋渡し」に

1898（明治31）年に創業し、国の重要無形文化財「久留米紬」の伝統を守り継ぐ「野村織物」で、野村さやかさんは商品の企画・広報などに奔走しています。夫で4代目の周太郎さんとともに「20年後を見据えて種をまいていきたい」と奮闘しています。

さやかさんは佐賀県出身。周太郎さんとの結婚を機に11年ほど前に広川町へ。当時は「紬の文字が『餅』に見えていました」と笑いますが、実際に身に着け



「子どもたちが跡を継ぎたいと思ってくれるように」

てみるとその肌触りの良さとともに、代々守られてきた伝統の「重み」を感じたといいます。

「久留米紬の魅力をもっと発信したい」。その思いを胸に、さやかさんはホームページを刷新したり、オンラインショップを開設したり、PRに努めました。SNSも毎日更新し、「伝えることで、自分自身もより深く久留米紬を知ることができました」と振り返ります。

参加した県事業では、日常使いで気軽に着られるスーツタイプの商品「Re:luck」を開発。厳しさを増す猛暑を受け今年は、久留米紬の生地を用いた扇子も商品化しました。「新しいことに挑戦する機会が増えました」と笑顔を見せるさやかさんは、将来の海外展開も見据えています。

県事業での交流を通じて、後継者たちのさまざまな悩みも知ったというさやかさん。伝統を継承する周太郎さんのパートナー



ー、そして3児の母として、「子どもたちが跡を継ぎたいと思った時、4代目と子どもの両方の思いが理解できる橋渡し役になりたい」と話します。



野村織物有限会社
● 広川町新代1745
☎ 0943-32-0018





「BOKOMEN！」

練り物を身近な存在に

魚のすり身をもっと身近な存在に——。福岡市南区の練り物メーカー「博水」の5代目・江越雄大さん（えごしゆうだい）は、かまぼこ、さつま揚げなどの魅力を伝えたいと日々奮闘を続けています。

同社は1903（明治36）年に創業。原料にこだわり、博多近海で獲れた白身魚・エソを仕入れています。「一般的には冷凍の魚肉ブロックが使われますが、うちは鮮魚。風味や食感が違います」と江越さんは胸を張

ります。製法も昔ながらで、エソに卵白やでんぶん、魚醬などを加えて石臼で丹念に練り、手間かけて、すり身にしています。

高たんぱくで低カロリー、魚のうまみが凝縮された練り物ですが、食の多様化などによって消費量は減少しているそうです。そこで、「食卓の彩りを手軽に添える一品を作ろう」と参加した県の事業で、県産のニンジン、カボチャ、ホウレンソウのペーストを練り合わせた「旬菜つみれ」を開発。CFを始めると目標額の5倍の購入希望者が集まりました（再販未定）。

練り物を主食にできないだろうか——。弾みをつけて、考案したのが、かまぼこの材料で作った麺「BOKOMEN！」です。2024年6月に再びCFに挑戦しました。麺とスープが一体になった冷凍タイプで、「博多とんこつ」



昔ながらの製法ですり身に加工



株式会社博水
福岡市南区清水2-18-36
☎092-551-4426



「あごだし柚子胡椒」「明太子クリーム」の3種類を用意。CFでは目標を上回る申し込みがあり、現在は工場併設の直売所やインターネット通販で取り扱っています。

リピート客も多いそうで、江越さんは「練り物の魅力、魚のおいしさを多くの人に知ってほしい」と願っています。

福岡市博水





古賀市増田桐箱店

「四角いモノなら日本一」に



職人の手作業で仕上げを行う

2012（平成24）年、「増田桐箱店」の3代目に25歳で就いた藤井博文さん。高校卒業後、先代の祖父に誘われて入社しました。さまざまな経験を積む中で、桐箱は、中に保管する品物の売れ行きに需要が左右されることを実感。「桐箱が主役」の商品開発を進めようと決意しました。

「2012（平成24）年、県」の事業に参加。自信を持って臨んだものの、講師たちに示した新商品のアイデアはことごとく否定されたといいます。「自分たちのこだわりと世の中のニーズとの乖離（かいり）を知り、人がモノを買う理由を深く考えるきっかけになりました」と振り返ります。

そこで、大切なものをしまってきた桐箱の歴史とスニーカーブームに着目し、桐製のシューケースを開発しました。

シューケースはCFで目標額の20倍近い購入希望があり、店の人気商品の一つに。現在は杉やヒノキ、未利用材など桐以外にも素材を広げ、家具や玩具、記念品など、箱にとらわれない新ジャンルの商品も次々に打ち出しています。

2029年、創業100年を迎える桐箱店。藤井さんは、「昔ながらの日本の商品を手に取ってもらえる工夫を追求したい」と意欲を燃やしています。



受け継いできた「桐箱一筋」を転換し、「四角いモノなら日本一」を目指して新しい時代への挑戦は続きます。



株式会社増田桐箱店
古賀市青柳町100-1
092-942-3061





プログラムの支援内容

例年5～7月に公募を行い、10社程度を採択。採択されたアトツギは開発した新商品をCFサイト「Makuake」に出展することをゴールに定め、およそ7カ月間にわたり以下のプログラムに臨みます。

実践的ワークショップ

全6回のワークショップでは、ブランド力を高めるコツ、SNSを活用した効果的な情報発信といった課題に向かい、短期集中型で学びを深めます。



個別相談

専任担当者が月1回程度、新商品のコンセプトやアイデアに関する相談、外部専門家とのマッチングなどに応じます。



中間報告会

百貨店のバイヤーなどから新商品に対する客観的なアドバイスを受けられます。



CFサイト、ポップアップストア出展

CFサイト「Makuake」や百貨店でポップアップストア「アトツギストア」にプログラムを通して磨き上げた新商品を展覧し、認知度向上、資金調達を目指します。



他にも、さまざまなコースを用意！

今回紹介した「アトツギ・ジャンプ（モノづくり）」だけでなく、県では、2024年からアトツギ・サッシン伴走支援プログラムを始動させ、対象別、段階別のプログラムを用意しています。

家業の若手後継者が新規事業に挑戦する中小企業を「アトツギベンチャー」、第二創業など新分野に挑戦する中小企業を「サッシンベンチャー」と名付け、対象別に新しいチャレンジを伴走支援するプログラムです。

段階別に「ベース」と「ジャンプ」を用意しており、「ベース」は、中小企業を成長・発展させるための土台（ベース）作りとして、事業アイデアの具体化を支援します。「ジャンプ」は、土台（ベース）から次のステージへ飛躍できるよう、新商品や新サービスの開発を支援します。



決意新たに！今年度も始動

「アトツギ・サッシンベンチャー テイクオフパーティー」が8月1日、福岡市中央区のワン・フクオカ・ビルディングで開かれました。約150名が参加し、今年度の採択者がこれから始まる挑戦へ決意を新たにしました。





20周年記念の新施設

あんしんルーム

光や音、におい、人の多さなどからくる刺激に敏感な人が気持ちを落ち着かせるための部屋です。イヤーマフなどのグッズも準備されていて、安心して博物館を楽しむことができます。



文化交流シアター

壁3面と床に投影した映像コンテンツで、没入感のある体験ができます。奈良時代からの太宰府の歴史をたどる「太宰府タイムトリップ」と、床に投影されたアイコンを踏むと博物館の展示内容が解説される「キューハクふむふむ」が交互に上映されます。



「時間の旅」次代へ

九州国立博物館は10月16日に開館20周年を迎えます。「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトに掲げ、2005（平成17）年、国内4カ所目の国立博物館として、古くからアジアとの外交の要衝だった太宰府の地に開館。以来、国内外の優品を紹介する趣向を凝らした展示を行い、来館者に新しい世界との出会いを届けてきました。20年の節目に、その時代に入り込むような「時間の旅」で歴史の面白さ、九州の素晴らしさ、博物館の楽しさを体感してみませんか。



「新たな発見がある場所」

開館20周年応援大使
井上芳雄さん

九州国立博物館開館20周年おめでとうございます。日本とアジアの文化交流の歴史から、新たな発見の機会を与えてくれる九博が大好きです。これからも、福岡をはじめ、九州、そして全国の皆さまに愛される博物館として歩みを進めていってほしいと思います。



井上芳雄（いのうえ・よしお）さん
1979年生まれ。福岡市出身。東京藝術大学音楽部声楽科卒業。同大在学中の2000年にミュージカル「エリザベット」の皇太子ルドルフ役でデビュー。高い歌唱力と存在感で数々のミュージカルや舞台の主演を務めるほか、コンサートの開催、音楽・バラエティ番組への出演、MCなど幅広く活躍。

九州国立博物館のあゆみ

国が九州国立博物館を太宰府市に建設することを決定

九州各県でつくる
「九州国立博物館誘致
推進本部」発足

1899
明治
32年

おかくらてんしん
岡倉天心が地元紙で
「九州博物館」の必要性を説く

1988
昭和
63年

1996
平成
8年

2005
平成
17年

20th ANNIVERSARY

開館20周年記念特別展

法然と極楽浄土

困難な時代に希望を与えた
法然ゆかりの宝物と
浄土教美術の名品が勢ぞろい



飛

雲に乗って 来迎図の最高峰

前期

国宝

あみだにじゅうごぼさつらいごうず はやらいごう
阿彌陀二十五菩薩来迎図 (早来迎)

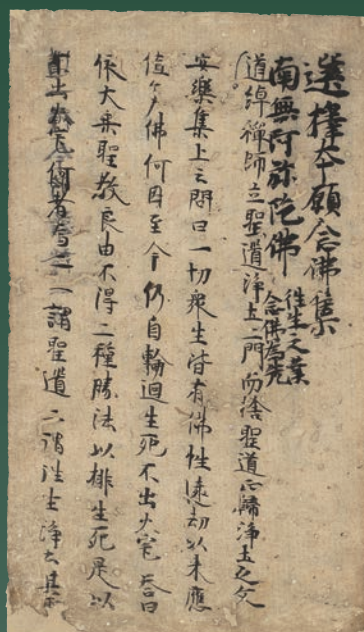
鎌倉時代・14世紀 京都・知恩院

桜が咲き誇るなか、阿彌陀が来迎する様子のスピード感まで表現した来迎図の最高傑作。

貴

重なる自筆

浄土宗の聖典



前期

重要文化財 選択本願念仏集 (廬山寺本)

鎌倉時代・12～13世紀 京都・廬山寺

現存する自筆が少ない法然が、関白・九条兼実に請われて著したとされる主著。冒頭の2行は法然の自筆と伝わる。浄土宗で第一の聖典と位置付けられ、「南無阿彌陀仏」を称える教えを詳しく説いています。

開館20周年記念展示・イベント

■九博の先駆け 明治の博覧会

特集展示「太宰府博覧会と鎮西博物館
—明治時代の博物館構想—」

10月21日(火)～11月30日(日)

1873(明治6)年、九州初の博覧会「太宰府博覧会」が開催され、その20年後には太宰府の地に常設の展示施設「鎮西博物館」の建設が提唱されます。当時の資料などを紹介し、九州国立博物館にとって重要な意義を持つ二つの出来事を振り返ります。



鎮西博物館歴史参考之備品
1896(明治29)年
福岡市博物館

■歴史の中のスイーツを探ろう

きゅーはく秋のツアー 甘味求心

10月7日(火)～12月21日(日)

展示室などを巡って作品を観賞するツアー。「甘味」「スイーツ」をテーマに、砂糖やお菓子にまつわる美術工芸品、考古資料、歴史資料などを紹介します。



色絵花鳥三果文大鉢
江戸時代・17世紀後半 佐賀・伊万里(有田)・柿右衛門窯

■九州の無形文化遺産の公演

九州のユネスコ無形文化遺産をはじめとする伝統芸能を実演し、地元の観光地や特産品なども併せて紹介します。

平戸のジャンガラ

10月11日(土)

長崎県平戸市に伝承される念仏踊。毎年8月に各地区で奉納されます。地区ごとに特徴のある花笠衣装や舞が見どころです。

公演・物販:10月11日(土)

パネル展示:10月7日(火)～
13日(月・祝)



大分の獅子舞

10月26日(日)

飯塚市大分に伝わる郷土芸能。村人が京都・石清水八幡宮で習得し、1724(享保9)年の秋の放生会で奉納したとされ、2頭の獅子が一對となって舞い踊ります。

公演・物販:10月26日(日)

パネル展示:10月21日(火)～
26日(日)



◎九州国立博物館

●太宰府市石坂4-7-2

■開館時間:9時30分～17時00分(特別展開催中の金曜・土曜は20時00分まで夜間開催) ※入館は閉館の30分前まで

■休館日:月曜(月曜が祝日・振替休日の場合は翌日)、年末

■観覧料・文化交流展(平常展):一般700円、大学生350円、高校生以下または18歳未満・満70歳以上は無料

往

導く優美な姿

生者を



通期

阿弥陀如来立像
(見返り阿弥陀)
鎌倉時代・13世紀
山形・善光寺

阿弥陀が往生者を極楽浄土に導く際、後ろを振り返る様子を表現。その姿は360度どこから見ても慈しみに満ちています。

内乱や災害・疫病で世が乱れた平安時代末期、法然(1133～1212年)はただひたすらに阿弥陀を信じて「南無阿弥陀」と称えれば、誰もが等しく極楽浄土に往生できると説き、浄土宗を開いたとされます。万人の救済を目指した法然の教えと生き様、開宗850年を昨年迎えた浄土宗の歴史を、国宝や重要文化財など計113件からたどります。

迫

力のある

若き日の法然上人

通期

重要文化財 法然上人坐像
鎌倉時代・14世紀 奈良・當麻寺奥院

数少ない法然の彫像で、奈良・當麻寺奥院で年に1回だけ御開帳されます。絵画からうかがえる法然像の特徴とは異なり、この像の頭部は丸く、壮年期の姿をあらわしています。

九州国立博物館開館20周年記念
特別展「法然と極楽浄土」

10月7日(火)～11月30日(日)

※会期中に展示替えが行われます

●前期:10月7日(火)～11月3日(月・祝)

●後期:11月5日(水)～11月30日(日)

観覧料:一般2,000円、

高校・大学生1,200円、

中学生以下無料





おいしい誇りを食卓に
File.27

全国有数の漁獲量！糸島の天然マダイ

祝いの席に出されることが多く、日本人にとって特別な魚・マダイ。糸島市は、全国有数の漁獲量を誇ります。玄界灘の速い潮の流れで育ったマダイは身が締まり、その味わいは格別です。



大物を手に笑顔の仲西さん

糸島の自然が育む

おいしさ

糸島がマダイの有数の産地となっている要因に地形が挙げられます。海と山が近く、森の養分を含んだ水が山から海に流れ込みます。糸島半島沖合の海域は起伏に富み、稚魚の生育にも適しています。この豊かな自然が、糸島の天然マダイを育んでいるのです。

糸島漁業協同組合に所属する漁師の多くは、5〜12月にかけて行われる伝統漁法「あみのようごち網漁」でマダイを獲ります。ごち網漁は、袋状の網ですくい上げるようにして獲る漁法で、経験と勘が欠かせないそ



水揚げされたマダイ

うです。

「良い時ばかりではないけれど、たくさん獲れた時の喜びがごち網漁の魅力」と漁師の仲西一男さん。大物を手にして、満面の笑みです。





仲西さんと船



糸島漁協船越支所の松隈さん



糸島鯛液みそ
(スティックタイプ)

糸島鯛液みそ
(ボトルタイプ)



鯛茶漬けのたれ

糸島鯛ラーメン



マダイのお造り

「旬」を味わえる天然物

糸島漁協船越支所長の松隈^{まつぐさ}さんは、「おいしく味わうなら、だしのうまみが効いた吸い物や鯛飯^{たいい}、ぷりぷり食感が楽しめる刺し身がおススメ。旬を味わえるのが天然物の良さ。漁獲量が注目されが

ちですが、多くの人に糸島の天然マダイを食べてほしい」と話します。

糸島漁協の直売所「JF糸島志摩の四季」には、地元で水揚げされた新鮮な魚介類が並び、天然マダイも購入できます。

海況によっては鮮魚の入荷がない日もありますが、店頭にはマダイを使ったラーメンやマダイをだしに使った鯛液みそなどの加工品もそろえています。



JF糸島 志摩の四季

糸島市志摩津和崎33-1 ☎092-327-4033



40年近い会社員生活にピリオドを打った毅司さんは、
落ち着いて生活できる環境を求めて今年5月、妻の初枝さん、
長女・つぶらさんの家族3人で北九州市に住まいを移しました。
約20年前の転勤で知った北九州の魅力を満喫しながら、
家族の絆を大切に笑顔の新生活を送っています。

Smile

移住・定住

東京都世田谷区→北九州市

なかむら たけし はつえ
中村毅司さん・初枝さん・

つぶらさん

(移住歴=約5ヵ月)

vol.
21

「家族で寄り添い」

笑顔の新生活

「人」と「食」が決め手に

毅司さんは大学卒業後、食品会社を経て、東京の電子機器メーカーに勤務。2004～09（平成16～21）年、北九州市の営業所に配属され、「住民の人の良さ、魚のうまさ忘れられませんでした」と当時を振り返ります。

昨年3月、60歳を前に退職。リタイア後は移住することを夫婦で決めており、「あくせくせず、適度に刺激のある環境で過ごしたいね」と話し合っていたそうです。

意中にあつたのは、知人たちの交流が続いていた北九州市。ダウン症の長女への手厚い支援がある東京を離れることに不安もありましたが、東京・有楽町の「くおかよかとこ移住相談センター」で複数の就労支援施設を紹介され、その親身な対応で気持ちは固まったといいます。



ストレスフリーな生活を満喫しているという中村さん一家。街なかのコーヒー店で一息ついたり、定食店や角打ちで過ごしたりするのも楽しみ。

北九州市の支援制度

・北九州市すまいるクラブ

北九州市への移住や定住を希望・検討している人が会員登録することで、引っ越し基本料金の割引や賃貸住宅の仲介手数料割引などの特典を受けられます。

・移住支援金

東京、名古屋、大阪圏から移住して就業、または起業した人に支援金(単身で60万円、2人以上の世帯で100万円、子ども加算あり)を交付します。対象となる人には条件があります。

移住応援
公式サイト
「北九州ライフ」



福岡県移住・
定住ポータルサイト
福がお〜くらし



が流れています。

自宅に近い小倉城の周辺を散歩するのが一家の楽しみ。寄り添って歩く3人の周りに「笑顔の時間」

が流れています。

「娘をフォローしながら、一緒に元気に生きていきたい」と、つづらさんの手をそっと握ります。

つづらさんは、週3日、就労支援施設に通って野菜のパック詰めなどに従事。作業するうちに、苦手だったトマトを食べられるようになったそう。他にも、人付き合いで程よい距離感を保てる北九州市の地域性や施設の方々のきめ細かいサポートが相まって、以前より性格も穏やかになったそうです。初枝さんは「娘が元気になる、その良い変化を見ていると本当にうれしい」と笑顔を見せます。

娘の変化に大きな喜び

芸術の秋に 筑豊の街なかアートを巡る

筑豊エリア（飯塚・嘉麻・田川市）

ハートの猫



腫のオブジェの先に
制作者のその子さん



筑

豊エリアには、芸術の秋にぴったりな、見て触れて楽しめる街なかアートが点在しています。

飯塚市の飯塚本町商店街には、鉄でつくられた高さ6メートルほどの巨大なイスのオブジェがあり、写真映え抜群のスポットになっています。

制作したのは、地元の芸術家・そのだ正治さん。『筑豊をアートで観光の街に』と、市街地や寺社、駅ホームなど30力以上を鉄のアート作品

で演出しています。

飯塚市街地に設置されたかわいらしい猫の作品や、嘉麻市の射手引神社にある動物などのオブジェは、見る人の心を癒やしてくれます。

作品の多くは、ハート形のパーツでかたちづくられてい

ます。その皆さん自身の郷土愛や、ここで暮らす人、訪れる人の『思い』を表しています。

宝探しに出かける気持ちで、秋めいていく筑豊の街を散策してみませんか。



射手引神社の天馬

大きなイス





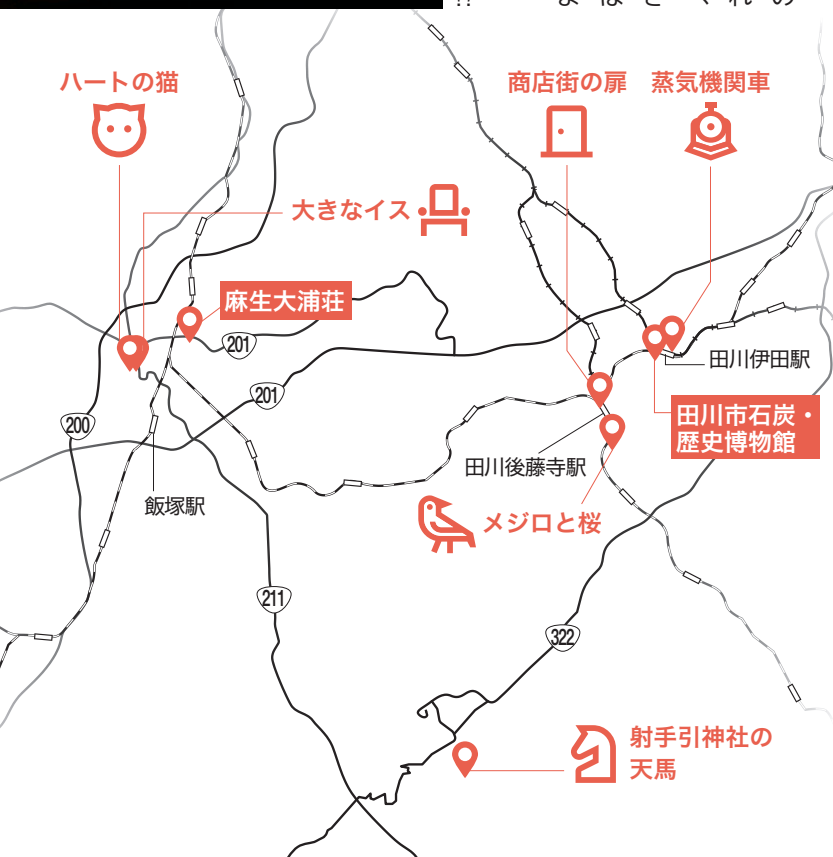
田川伊田駅の壁から、蒸気機関車が飛び出てきた!?



扉の奥には昭和30年代の後藤寺商店街が

田川市内の商店街や駅などでは、目の錯覚を利用したトリックアートを楽しまれます。石炭を運んだ蒸気機関車や炭鉱景気でにぎわった商店街など、旧産炭地ならではの題材で構成した作品は遊び心いっぱい。商店街には、炭鉱や花、動物をテーマにしたシャッターアートもあり、ポーズを取って写真撮影などをする人でにぎわいます。

桜の名所として知られる丸山公園に足を運ぶと、野外ステージの壁面中央に見事な一本桜、その両隣にはメジロの姿がスプレーアートで描かれています。「季節を問わず、きれいな桜を見ることができてうれしい」と、訪れた人は咲き続ける桜に見入っていました。



メジロと桜



02
田川の街なかアート
周辺の見どころ

田川市石炭 歴史博物館・

三井田川鉱業所伊田^{たてこう}堅坑の跡地に立っている。石炭を主なテーマとした全国でも珍しい展示で、屋外には復元された炭鉱住宅や実際に使われていた大型機械類もある。博物館がある石炭記念公園には田川市のシンボル・二本煙突と^{やぐら}竪坑櫓がそびえている。

田川市伊田2734-1 ☎0947-44-5745



01
田川の街なかアート
周辺の見どころ

麻生大浦荘

炭鉱経営で財をなした麻生一族の住宅の一つ。大正末期に建てられた数寄を凝らした和風入母屋書院造りで、普段は非公開だが、紅葉シーズンになると、赤や黄に色づいた木々が庭園に映える様子を楽しめる。今年は11月23～30日に特別公開される。

飯塚市立岩1060 ☎0948-22-3511 (飯塚観光協会)



若鷹と歩むまち

筑後平野の中央に位置する筑後市。矢部川が流れる田園都市には、2011（平成23）年に九州新幹線・筑後船小屋駅が開業し、その5年後には福岡ソフトバンクホークスの選手育成拠点が誕生。ファンが間近で選手を応援できる熱気と一体感が新たな活力となり、まちは輝きを増しています。



筑後市

きらめき★マイタウン



施設内で選手に出会えることも

© SoftBank HAWKS



選手たちを間近で観戦できる

© SoftBank HAWKS



HAWKS ベースボールパーク筑後



© SoftBank HAWKS



© SoftBank HAWKS

福

岡ソフトバンクホークスの選手育成拠点として

2016(平成28)年3月にオープンした「HAWKSベースボールパーク筑後」。筑後船小屋駅から徒歩7分の場所にあり、年間10万人超が訪れます。

約3000人を収容できるメイン球場「タマホームスタジアム筑後」は、スタンドとグラウンドの距離が近く、選手たちの躍動を間近に感じることが出来ます。シーズン中はもちろん、秋季や春季のキャンプなど一年を通じて、成長する「若鷹」たちを応援できるスポットです。

選手寮の食堂メニューを再現したカレー、近隣自治体の物産展など、グルメやイベントも人気です。

周辺には、日本で唯一、恋の神様「恋命」を祀っている恋木神社、県営筑後広域公園、船小屋温泉郷などがあり、筑後市のにぎわいと交流を生む拠点になっています。

問い合わせ

筑後市役所 ♡筑後市山ノ井 898 番地 ☎0942-53-4111
<https://www.city.chikugo.lg.jp>



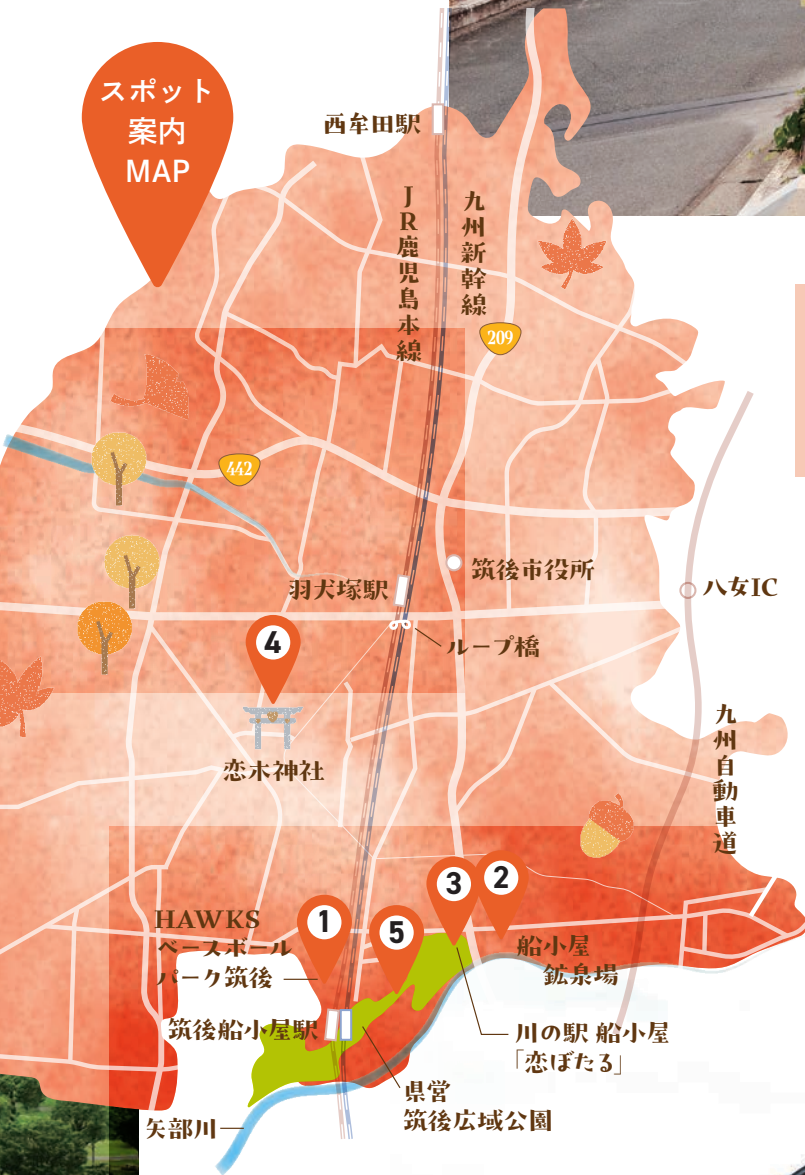
2

船小屋鉱泉場

船小屋温泉郷の中心部にあるレトロな建屋が目印です。日本有数の炭酸含有量を誇り、「砂糖を入れたらラムネになる」と言われるほど。鉄分の多さも特徴です。その場で無料で飲めます。



スポット
案内
MAP



久留米絣



江戸時代に井上伝によって生み出された織物・久留米絣^{かすり}。市内に点在する工房は、伝統を大切に受け継ぎながら、新たな模様の開発などにも取り組んでいます。各織元と筑後市観光協会は毎年、工房を一般開放して職人の技を間近で見てもらう催し「絣の里巡りin筑後」を開き、久留米絣の魅力を発信しています。

3

川の駅 船小屋「恋ぼたる」

県営筑後広域公園にある施設。物産館では地元の海の幸・山の幸を販売し、温泉館では日帰り入浴のほか、無料の足湯などが楽しめます。マルシェなどのイベントも人気です。



筑後市おすすめスポット



4

恋木神社

水田天満宮の境内にあり、「^{こいのみこと}恋命^{まつ}」を祀る全国でも珍しい神社です。鳥居や石灯籠、敷石など、境内の随所にハートをかたどったデザインが施され、「恋愛成就」を願う人々が各地から訪れます。SNSに映えるスポットとしても人気です。

筑後市
観光情報



@CHIKUGO_COLLECTION

おすすめスポットを
掲載しています



5

県営筑後 広域公園

県内最大の緑豊かな県営公園で、四季折々の花木が来園者を迎えます。ジョギングコースやピクニックエリア、ドッグラン、BMXパークなどが整備され、自分に合った過ごし方ができます。バーベキュー施設や遊具広場は家族連れに人気で、今年春には愛犬と宿泊できるドギーサイトや、大人数で利用可能なグループサイトがあるオートキャンプ場がオープンしました。





知事 郷土料理を大切にし、普及しようという熱意を強く感じます。試食でいただいたぎすけ煮と穴子飯は、とてもおいしいです。魚をさばく技術子どもに伝えることは、魚離れの防止も期待でき、いい取り組みですね。福岡県民は塩分の摂取量が多い傾向にあるため、県も生活習慣病予防のための減塩を強く呼び

市長 宗像市は、地産地消の促進に向け、食育を意識した給食の提供や、地元食材を使った特産品開発も行っています。

中谷 市食生活改善推進会は、小学生に郷土料理を教えたり、中学生にアジの三枚おろしを指導したりしています。県の減塩プロジェクト「TRY!スマソる?」とも連携し、2023年度のスマソレシピコンテストでは会員が魚介部門で第2位を受賞しました。

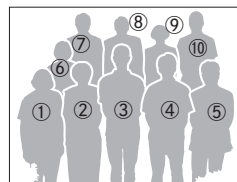
地域一丸で「食育」



2025年
8月1日
宗像市

知事が各地へ出向き、地域で活躍中の皆さんと意見交換する「知事といきいきトーク」。

今回は、「食のまち」を掲げる宗像市を訪問し、生産や販売、食育に携わる皆さんと、食を通じた地域振興への意見を交わしました。



知事といきいきトーク

「食のまち」宗像市 生産と消費の循環で ずっと住みたいまちへ

かけていきます。

井上 宗像市は全国でも珍しく、全小中学校で給食の自校調理を行っています。毎月19日の週を「むなかた育ちウィーク」として、全校で地元食材をふんだんに使った給食を提供します。子どもたちは生産者を紹介する資料や動画を見て、感謝を深めています。給食食材の納入業者の方と一緒に食べる「招待給食」などの機会も設けています。

知事 地元生産者の皆さんが作られた素晴らしい食材を子どもたちが知り、味わうことができ良いですね。工夫を凝らした取り組みは大変参考になります。

進む農業の大規模化

福岡 祖父母から農業を継ぎ、今年で18年目です。米の無農薬栽培と直接販売を進めるとともに、田んぼは当初の約3ヘクタールから21ヘクタールに拡大しました。2017（平成29）年からは、周囲



宗像市で
活躍する皆さん

なかに みつこ
●中谷 光子さん①

宗像市食生活
改善推進会 会長

いのうえ えみ
●井上 恵美さん②

玄海小・中学校 栄養教諭

ふくしま ひとし
●福島 光志さん③

株式会社農業福島園 代表

しみず ようすけ
●清水 陽介さん④

宗像市認定農業者

なかの かずひさ
●中野 和久さん⑤

道の駅むなかた 駅長

福地 幸子 県議会議員⑥

井上 正文 県議会議員⑦

●服部 誠太郎 県知事⑧

●伊豆 美沙子 宗像市長⑨

赤田 篤史 宗像市秘書政策課長⑩

宗像市の ココが推し！



道の駅むなかた

宗像市江口 1172
☎0940-62-2715



宗像の新鮮な魚介や農産物が豊富にそろった直売所は、九州の道の駅でトップの売り上げを誇る。2024 年には、花や工芸雑貨を扱う「higoro (ひごろ)」が東館にオープンするなど、施設がさらに充実。プライベートブランド商品の開発などフードロス対策にも取り組む。



宗像陸上養殖株式会社

宗像市江口1414-1
☎0940-72-4506



2023 年からサーモンの陸上養殖に取り組む。防疫管理を徹底することでワクチンや薬を使わず、季節や天候に左右されない生産体制を確立し、年中、最もおいしい状態のサーモンを供給する予定。2025 年中に初出荷し、西日本最大級となる年間 500 トンの供給を目指す。



市立城山中学校

宗像市陵厳寺1-13-1
☎0940-36-1322
(市安全安心な学校づくり課)



2024年1月に供用開始。高い耐震性や市内初の空調完備の体育館など、災害時の避難所防災機能を強化。体育館のトイレは、多様性に配慮し、柔軟な運用が可能な男女共用個室を整備。



の農家と無農薬栽培した酒米「山田錦」で酒をつくる「宗像日本酒プロジェクト」に取り組んでいます。

知事 猛暑で米栽培はいつそう難しくなっており、県では新品種の開発を進めています。農業の大規模化は生産性・収益の向上につながるため、農地の面積拡大や法人化も重視しています。無農薬栽培などの付加価値を発信し、消費者に理解していただくことも大切です。

清水 就農 20 年で米、麦、大豆、露地野菜を約 40 ヘクタール作付けしています。県が開発した大豆の新品種「ふくよかまる」は実証段階から栽培していますが、茎が倒れにくく育てやすいです。また、小学生の農業体験にも関わり、子どもたちと大豆の収穫や田植え、稲刈りを一緒にやっています。

一方、農家の減少や高齢化で周囲の協力の大切さを痛感しており、私自身も地域に役立てるよう努めています。大区画化やスマート化も進めて効率の良い農業

中野 道の駅むなかたは両政令市の間に位置していて立地が良く、豊富な品揃えで、九州の道の駅では 14 年連続売り上げ No.1 です。年 18 億円ほどを売り上げ、600 人を超える出品者の所得向上に貢献しています。旅行情報サイトの全国道の駅グランプリ 2025 で第 2 位となり、多くのお客さまに評価いただけたことが大変うれいす。積極的な情報発信やイベント開催、地元食材を使ったプライベートブランド商品の開発、周辺の飲食店との連携も進めています。

知事 人を引きつけ、楽しませる多角的な取り組みが長年の高評価につながっており、ご努力に敬意を表します。プライベートブランド商品では市場に出せない魚や野菜も活用され、サステナブルな素晴らしい取り組みです。

サステナブルな取り組み

地球温暖化が進行する中、今後も豊かな食を守るには地球環境も守っていく必要があり、これは県が進めるワンヘルスの考えにも通じます。引き続き皆さんと力を合わせて取り組みたいと思いますので、よろしく願います。



をしていきたいです。

知事 当初から「ふくよかまる」を栽培いただき、ありがとうございます。県は農業の DX 推進を掲げ、大規模化やスマート農業を応援しています。若い皆さんが夢を持って参入できる「もうかる」農業に向けて、一緒に頑張りましょう。

※ぎすけ煮…小魚と大豆を揚げて甘辛く味付けした福岡県の郷土料理

県議会だより

県議会だより

代表者会議

代表者会議は、議長・副議長および議会内で5人以上の所属議員を有する会派の代表者により構成され、議会の行事に関する事、議員定数に関する事、改選に伴う初議会の運営に関する事、その他議会運営上必要と認める事項などについて協議し、会派間の意見を調整するため設置されています。



写真向かって右から

梶島 徳博
(新政会会長)

大田 京子
(議会運営委員会副委員長／
民主県政県議団)

岩元 一儀
(民主県政県議団会長)

中尾 正幸
(副議長／自民党県議団)

蔵内 勇夫
(議長／自民党県議団)

松尾 統章
(自民党県議団会長)

板橋 聡
(議会運営委員会委員長／
自民党県議団)

新開 昌彦
(公明党団長)

議会運営委員会

議会運営委員会は、会期、議事日程、会期の延長・休会、特別委員会の設置・改廃、議会関係の条例や規則の制定・改廃など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、また、議会改革に関する調査、議長の諮問に答えるなど、議会の円滑な運営を図るために設置されています。

(◎印は委員長、○印は副委員長)



写真向かって右から

大塚 絹子 (新政会)

井上 寛 (公明党)

壹岐 和郎 (公明党)

田中 雅臣 (民主県政県議団)

豊福るみ子 (民主県政県議団)

新井富美子 (民主県政県議団)

○大田 京子 (民主県政県議団)

◎板橋 聡 (自民党県議団)

井上 順吾 (自民党県議団)

江口 善明 (自民党県議団)

江頭 祥一 (自民党県議団)

高橋 義彦 (自民党県議団)

花田 尚彦 (自民党県議団)

林 泰輔 (自民党県議団)

宮川宗一郎 (自民党県議団)



常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査および議案、請願などを審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の3つの委員会を紹介いたします。

(◎印は委員長、○印は副委員長)

総務企画地域振興委員会

総務企画地域振興委員会は、行財政対策、職員の定数・給与および勤務条件、財産の取得・管理および処分、消防防災対策、県行政の総合企画および総合調整、市町村振興、ITの進展に伴う情報化の推進、交通政策、国際化の推進、地方税制などについて審査および調査を行っています。



写真向かって右から

井上 博行
板橋 聡
大島 道人
井上 順吾
◎吉田健一朗
○豊福るみ子
原中 誠志
壹岐 和郎
大塚 絹子
中村 明彦
後藤 香織

厚生労働環境委員会

厚生労働環境委員会は、社会福祉事業の推進、社会保障制度の充実、援護対策、保健・医療ならびに環境衛生、自然環境の保全、中小企業などの労働福祉の推進、雇用・就業対策、職業能力開発体制の推進などについて審査および調査を行っています。



写真向かって右から

笠 和彦
江頭 祥一
秋田 章二
長 裕海
○佐藤 楓
◎山本 耕一
大橋 克己
吉岡 玲子
大塚 勝利
新開 崇司
栗原 悠次

県民生活商工委員会

県民生活商工委員会は、多様な主体の協働の推進、県民の文化およびスポーツの振興、男女共同参画社会の推進、安全・安心まちづくりおよび消費者政策の推進、中小企業振興、先端成長産業の育成、観光振興、企業立地の推進などについて審査および調査を行っています。



写真向かって右から

井上 正文
神崎 聡
野原 隆士
加地 邦雄
◎中嶋 玲子
○横尾 政則
原田 博史
坪田 晋
塩出麻里子
堀 大助
浦田 大治

県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部を紹介します。

全国都道府県議会議長会定例総会

7月23日、第181回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、藏内勇夫議長が出席し、全国都道府県議会議長会会長としてあいさつおよび会議の進行を行いました。

総会では、令和6年度決算の認定、議案審議、役員などの選任が行われ、いずれも原案のとおり承認および決定されました。

また、「ワンヘルスの推進について」と題した講演が行われました。



内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会

7月24日、内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会が内閣総理大臣官邸で開催され、藏内勇夫議長が出席しました。

藏内議長は全国都道府県議会議長会会長として、「若者や女性に選ばれる地域をつくる地方創生を最重要課題とし、多様な人材が地方議員に立候補しやすい環境整備に粘り強く取り組みでまいります。さらに、ワンヘルスの取り組みを推進し、次世代に命あふれる美しい健康な地球を引き継ぐことを目指します」とあいさつしました。



国の施策・制度・予算に対する関係省庁への提言・要望

7月30日、藏内勇夫議長は服部誠太郎知事、江口勝副知事とともに関係省庁を訪問し、ワンヘルスの推進、米国税措置への対応、県立高校の魅力ある教育環境の整備、地方財政の充実・強化と地方分権の推進、農林水産業の振興、少子化対策・子育て支援の強化など、本県の県政推進のための提言・要望を行いました。



九州各県議会議長会議

8月7日、令和7年度第2回九州各県議会議長会議が本県で開催され、藏内勇夫議長、中尾正幸副議長が出席しました。

藏内議長は開催県議長として、「九州各県議会議長会議は、九州の重要な諸問題について、常に『九州は一つ』の共通認識のもと、熱心な議論を重ね、その成果を挙げてまいりました。九州各県議会が一堂に会するこのような貴重な機会を通じて、意見を交換し、共に課題解決を図ってまいります」とあいさつしました。



東九州軸陸上交通高速化促進4県議会議長会の提言・要請

8月8日、藏内勇夫議長、中尾正幸副議長は、東九州軸陸上交通高速化促進4県議会議長会の福岡提言・要請を行いました。

国土交通省九州地方整備局および西日本高速道路株式会社九州支社に対しては、「東九州自動車道の建設促進について」、国土交通省九州運輸局および九州旅客鉄道株式会社に対しては、「日豊本線の高速化等について」などの提言・要請を行いました。



福岡県戦没者追悼式

8月15日、令和7年度福岡県戦没者追悼式が福岡県立福岡武道館（福岡市）で開催され、中尾正幸副議長をはじめ、多くの議員が出席しました。

中尾副議長は、「本日の式典に臨み、改めて平和への決意を新たにするとともに、戦後80年を迎え、多くが戦争を知らずに育った世代である今、戦争の悲惨さと平和の尊さをしっかりと後世に受け継ぎ、全ての県民が真に豊かであるよう、県議会として不断の努力を重ねてまいります」と追悼の言葉を述べました。





大切な人を守る心 「ガーベラ」に込めて

毎年、新しい品種が登場するガーベラ。「花言葉はたくさんあり『希望』など前向きなものが多いです。大切な人への思いとともに贈ってほしい」と広川町でガーベラを生産している山下さんは言います。

福岡県の2024年産の出荷量は1800万本と全国2位で、広川町では123品種、年間390万本ほどを栽培しています。

敬老の日やハロウィーンはオレンジや黄、クリスマスは赤、卒業式シーズンはピンク色が人気。直径10センチメートル以上の存在感のある大輪のほか、小さな花びらが詰まって手毬まりのようなかわいらしいものなど、形もさまざまです。

山下さんは「華やかでかわいらしく、テーブルに置けば生活に彩りを添えてくれますよ」と話します。



JAふくおか八女 花き部会
広川ガーベラ部

部長 山下和彦（やました かずひこ）さん
☎0942-52-9527



花による美しいまちづくり



まちを花で彩ることで、子どもからお年寄りまで、誰もが住みたいと思う花あふれる福岡県を目指しています。



花壇の手入れをする貞光さん

愛される憩いの場に (直方市)

「来てくれた人が笑顔になるように花をたくさん咲かせたい」。そう話すのは、農産物直売所「新鮮食広場『なのはな畑』」の社長・貞光弘利（さだみつひろとし）さん。色とりどりのニチニチソウやラベンダーが咲き誇る花壇を温かいまなざしで見つめます。

直売所横にある花壇は、福岡県

が進める「花による美しいまちづくり」の補助事業を活用して直方市が整備。花植えに取り組むボランティア団体や県民の皆さんが維持管理する「パートナー花壇」として、貞光さんが日々の手入れをしています。

花を楽しみに訪れる買い物客もいるため、貞光さんは「多くの人に愛される憩いの場にしたい」と笑顔を見せます。



個人情報の取扱いについて

グラフふくおか
2025 AUTUMN（通巻620号）
令和7年9月22日発行（季刊）
発行／福岡県 県情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
☎092-643-3102（直通） ファクス 092-632-5331
製作／株式会社 読売新聞西部本社



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

